

平成 21 年 6 月 29 日現在

研究種目：若手研究(B)
 研究期間：2007～2008
 課題番号：19730133
 研究課題名(和文) 比較研究によるグローバリゼーション、国際人口移動、人間安全保障に関する研究
 研究課題名(英文) Globalization, International Migration and Human Security: A Comparative Analysis
 研究代表者
 シャーニー ジョージアンドレア (SHANI GIORGIANDREA)
 立命館大学・国際関係学部・准教授
 研究者番号：60351318

研究成果の概要：本研究では主に理論的研究を中心としながら、インタビュー等による実践的研究も行い人間の安全保障の新しい理論的枠組みについて考察を深めた。具体的な理論的研究の成果はISA学会(国際関係学会)等(平成21年2月15日～18日 New York, USA「Presentation at Annual Convention of the *International Studies Association*」)で発表し、論文においても *International Studies Review* でポスト西洋型国際関係理論(独自の概念)についての枠組みを発表した。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	800,000	0	800,000
2008年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,300,000	150,000	1,450,000

研究分野：国際関係論 国際政治

科研費の分科・細目：社会学・国際関係論

キーワード：国際関係理論、トランスナショナル・イシュー、グローバル・イシュー、安全保障論

1. 研究開始当初の背景

市場化、民営化、構造調整といった形式でのグローバリゼーションは、国家の経済領域における役割を低下させ、南アジアにおける多数の人々およびその少数離散民族の人々に混乱をまねき、さらなる不安定化を引き起こした。このことは、民族・宗教的アイデンティティの政治化および意義の模索を誘発

し、民族国家のおよび原理主義的な動きが、南アジアおよびその他の地域にまで拡散するという結果をもたらした。これらは、南アジアにおける非宗教的地域や、いくつかのケースにおいては、居住している領域およびその人々においてさえも、差し迫った安全保障上の脅威を与えている。人間の安全保障のA

プローチが領土によってくぎられた主権国家ではなく、個人を安全保障の第一の対象としているために安全保障学や国際関係で重要な出発をはたしたといえる一方で、人間安全保障の概念は、国家安全保障という教義を補足し補強すらしており、また国家や国際組織により促進されている。グローバリズムにより人間の安全保障の概念が重要になってきているが、これからの研究を有益なものとするためには、人間の安全保障の概念が潜在的に抱えている矛盾を解決しなければならない。

9.11後の世界においてグローバリゼーションにより生み出された人間安全保障の欠如と国家に対する安全保障上の脅威との関連について研究をすすめ、人間の安全保障の新しい理論的枠組みについて考察を勧める必要があった。

2. 研究の目的

この研究の目的はグローバリゼーションが、南アジアにおける民族・宗教的コミュニティとその少数離散民族のアイデンティティに与える影響について調査し、さらにそれらが人間の安全保障の問題にどのように関わっているのかを考察することである。今まで筆者が行ってきたグローバリゼーション、人間の安全保障に関する研究をもとにし、本研究では特にヨーロッパを中心とし、北アメリカ、日本に在住する南アジアの民族・宗教的コミュニティの比較研究を理論的、実践的なアプローチによって行うことで、批判的な人間の安全保障の理論的枠組みについて研究を勧める。

この研究は、国家の安全保障への脅威と、9.11後の世界においてネオ・リベラルグローバリゼーションにより生み出された人間の安全保障の欠如との関連性についての考察

を試みることを目的としている。

3. 研究の方法

(1)国内外における資料収集や研究会等により理論的研究をすすめる。

(2)科研費による研究等からさらに考察を深め、まとめた結果を出版

(3)さまざまな国際学会等による発表

19年度

「関連文献の書評、論評」

特に宗教的対立と人間安全保障の問題に関する本、ジャーナル、定期刊行物の書評および論評。

南アジアの宗教的マイノリティグループの代表へのインタビュー

宗教と国際関係についてヨーロッパ国際関係学会(SGIR)で報告

20年度

マイノリティな宗教・民族に関する資料収集

書評 人間安全保障・宗教的マイノリティ出版社との協議

アメリカ合衆国、NYで開催されるISA学会での報告・参加

4. 研究成果

(1)19年度の主な研究成果

9月12-15日: イタリア Torino 「トリノ」宗教と国際関係についてヨーロッパ国際関係研究会(SGIR)での報告.

平成19年 12月:

「Sikh Nationalism and Identity in a Global Age」の出版(出版社:英国 Routledge)

人間安全保障について、アメリカ合衆国、サンフランシスコで開催されるISA学会での報告

(2) 20年度の主な研究成果

人間の安全保障に関する資料収集や研究会等によりまとめた研究の成果を2月に New York で行われた ISA 学会(国際関係学会)で発表。(平成21年2月15日~18日 New York, USA 「Presentation at Annual Convention of the International Studies Association」 パネル「Foucault と国際関係理論」と「批判的 人間安全保障研究を超えて」における報告・ 司会。)

論文としては、2008年12月に International Studies Review でポスト西洋 型国際関係理論(独自の概念)について発表。

まとめ

人間の安全保障のアプローチが安全保障学 や国際関係で重要な出発をはたしたといえ る一方で、人間安全保障の概念は、国家安全 保障という教義を補足し補強すらしており、 また国家や国際組織により促進されている。 グローバリズムにより人間の安全保障の概 念が重要になってきているが、これからの研 究を有益なものとするためには、人間の安 全保障の概念が潜在的に抱えている矛盾を 解決しなければならない。既存の国際関係理 論は西洋の歴史や政治に基盤をおき、西洋か ら発信されたものであった。その西洋型国際 関係理論が生み出した矛盾を解決し新たな 国際関係理論の枠組みの必要を提唱すべく 筆者はポスト西洋型国際関係理論を提案す る。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に は下線)

[雑誌論文](計3件)

1 Giorgio SHANI Towards a Post-Western IR: The *Umma*, *Khalsa Panth* and Critical

International Theory, *International Studies Review*, Volume 10 Special Issue 2008: 722-734, 査読有

2 Giorgio SHANI Provincialising Critical Theory: Islam, Sikhism and International Relations, *Cambridge Review of International Affairs* 20 (3) 2007: 417-434, 査読有

3 Giorgio SHANI "Two Nations": The Religious and Secular Dimensions of Muslim Nationalism in Colonial India, *Ritumeikan International Affairs*, Volume 5, 2007: 69-85, 査読無

[学会発表](計6件)

1. Giorgio SHANI Critical Perspectives on Human Security 「批判的人間安全保障研究を超えて」 International Studies Association (国際関係学会) Annual Convention, New York 2009年2月18日
2. Giorgio SHANI Foucault and International Relations Theory 「Foucault と国際関係理論」、International Studies Association (国際関係学会) Annual Convention 2009年2月15日
3. Giorgio SHANI Globalization, The War on Terror and Human In/Security in South Asia, Global Centre of Excellence, Graduate School of Asian and African Studies, Kyoto University, 12/6/2008.
4. Giorgio SHANI Towards a Critical Human Security Paradigm? paper presented at roundtable on Beyond Critical Security Studies: Human Security in the Age of Globalization at the 49th Annual Convention of the Inte

International Studies Association (ISA),
San Francisco, Cal., USA, 29/3/ 20
07.

5. Giorgio SHANI Globalization, Human In/Security and Cultural Diversity , paper prepared for Conference on Globalization, Difference and Human Security , 大阪大学, March 12-14, 2008.
6. Giorgio SHANI Towards a De-secularized Transnational Civil Society? Transnational Religious Actors and International Relations , paper presented at the 6th *Pan-European International Relations Conference*, Torino, Italy, 9/13/2007

〔図書〕(計 7 件)

1 著書(単著) *Sikh Nationalism and Identity in a Global Age* (Routledge 2007) ISBN: 780415421904

2 著書(共編) *Protecting Human Security in a Post 9/11 World: Critical and Global Insights*, edited with M. Sato and M.K. Pasha (Palgrave 2007). ISBN: 0230006450

3 著書(章担当) Religious Transnational Actors and World Politics in Jeff Haynes (ed.) *The Routledge Handbook of Religion & Politics* (London: Routledge, 2008), pp. 308-322.

4 著書(章担当) Introduction: Protecting Human Security in a Post 9/11 World in *Protecting Human Security in a Post 9/11 World: Critical and Global Insights*, edited with M. Sato and M.K. Pasha (Palgrave Macmillan 2007), pp. 1-17.

5 著書(章担当) “Democratic Imperialism, Neo-Liberal Globalization and Human In/Security in the Global South” in *Protecting Human Security in a Post 9/11 World: Critical and Global Insights*, edited with M. Sato and M.K. Pasha (Palgrave Macmillan 2007), pp. 17-30.

6 著書(章担当) Globalization, The “War on Terror” and Human In/Security in South Asia , in *Protecting Human Security in a Post 9/11 World: Critical and Global Insights*, edited with M. Sato and M.K. Pasha (Palgrave Macmillan 2007), pp. 115-30.

7 著書(章担当) Conclusion in *Protecting Human Security in a Post 9/11 World: Critical and Global Insights*, edited with M. Sato and M.K. Pasha (Palgrave Macmillan 2007), 193-200.

6 . 研究組織

(1) 研究代表者

シャーニー ジョージアンドレア
(SHANI GIORGIANDREA)
立命館大学・国際関係学部・准教授
研究者番号：60351318

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者